

米中の宇宙開発競争など最新情報を「はやぶさ2」生みの親が解説！

「はやぶさ2」が拓く 人類が宇宙資源を活用する日

「はやぶさ」プロジェクトマネージャ・JAXA シニアフェロー・「はやぶさ2」アドバイザー 川口淳一郎

(価格) 1500 円+税 〈出版元〉 ビジネス社

株式会社ビジネス社（東京都新宿区 代表取締役：唐津隆）は、新刊書籍『「はやぶさ2」が拓く 人類が宇宙資源を活用する日』を1月23日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

日本の「はやぶさ2」、中国の月面探査機「嫦娥5号」、 そして、米国が対中意識で推し進める「アルテミス計画」

「はやぶさ2」がリュウグウのサンプルリターンに成功しました。小惑星はレアメタルなどの“金属の宝庫”と予測されています。遠くない将来、小惑星の金属を持ち帰り、利用する日がきます。もはや宇宙はロマンだけの場ではないのです。

米国は再び月に注目し、月面に有人基地と、軌道上に宇宙ステーション Gateway を作る「アルテミス計画」を進めています。一方、国を挙げて“宇宙先進国の仲間入り”を目指す中国は、「嫦娥5号」が月面から2キロの試料を持ち帰ることに成功。次は火星を目指しています。本書は、こうした各国の動向をわかりやすく解説します。

「はやぶさ」「はやぶさ2」プロジェクトの秘話も紹介！

「はやぶさ」「はやぶさ2」と続くプロジェクトは、1990年代半ばに著者が中心となって立ち上げました。さまざまな課題や困難をクリアしながら、人類初の小惑星からのサンプルリターンが実現したのです。一筋縄ではいかない開発過程のエピソードを紹介します。

一般には知られていない最先端の情報を、わかりやすく解説

中国の「嫦娥5号」は、非常に複雑なミッションです。地球へ帰還する「周回モジュール」は軌道上で待機し、切り離された「着陸機」のみが着陸、サンプルを収集後、再び上昇して「周回モジュール」にドッキングしています。宇宙空間では、分離するのは簡単ですが、ドッキングは非常に難易度が高いのです。この離れ業を中国がやってのけました。着実に宇宙での存在感を増しています。

まだまだ一般には知られていない、宇宙開発の最先端。好奇心を掻き立てられる情報が満載です。



【川口淳一郎(かわぐちじゅんいちろう) プロフィール】

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー、宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系特任教授。1955年青森県生まれ。1978年京都大学工学部機械工学科卒業。1983年東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程修了。工学博士。同年旧文部省宇宙科学研究所システム研究系助手に着任、2000年教授に就任。「さきがけ」「すいせい」「ひてん」「のぞみ」などの科学衛星ミッションに携わる。初代「はやぶさ」のプランを作り上げ、プロジェクトマネージャを務める。2010年6月、世界で初めて小惑星からサンプル(試料)を持ち帰ることに成功。大きな感動をもたらした。「イカルス」「はやぶさ2」を立上げ、「はやぶさ2」ではアドバイザーを務めている。著書に『こども実験教室 宇宙を飛ぶスゴイ技術!』(ビジネス社)、『『はやぶさ』式思考法 日本を復活させる24の提言』(新潮文庫)など。

【本書の構成】

・第1章 小惑星リュウグウの歴史を紐解く

小惑星リュウグウは脅威のスカスカ天体だった！

リュウグウのコマのような形状から読み取れることは？

リュウグウの構造を知ることは「地球防衛」にも役立つ など

・第2章 地球の水は小惑星からきた!?

地球の水はどこからきたのか？「はやぶさ2」がその謎に迫る
太陽系の惑星は最初から今の位置にあったのではない!?

リュウグウに水の存在が確認された！ など

・第3章 「はやぶさ」2代の技術イノベーション秘話

コロナ禍の混乱の中で行われた「はやぶさ2」のカプセル回収
リュウグウにクレーターを作るインパクタ誕生までの苦闘 など

・第4章 宇宙資源を活用する時代の幕開け

アメリカは宇宙資源について「採掘利用した人に権利がある」と法制定

小惑星は鉱物資源の宝庫！ これを利用する日がやってくる など

第5章 米中の宇宙開発競争、そして世界の情勢

バイデン政権下での月探査計画に注目

複雑なミッションを見事に完遂「嫦娥5号」で示した
中国の実力 など

・第6章 宇宙資源を活用する時代の幕開け

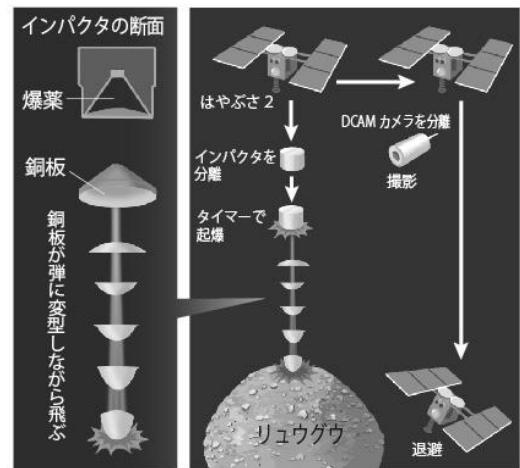
アメリカのアルテミス計画、ゲートウェイステーション
人類の生活に必要な呼気と水は、月面でも作ること
ができる？

驚くべき発見！ 月には「水」が豊富にある!? など

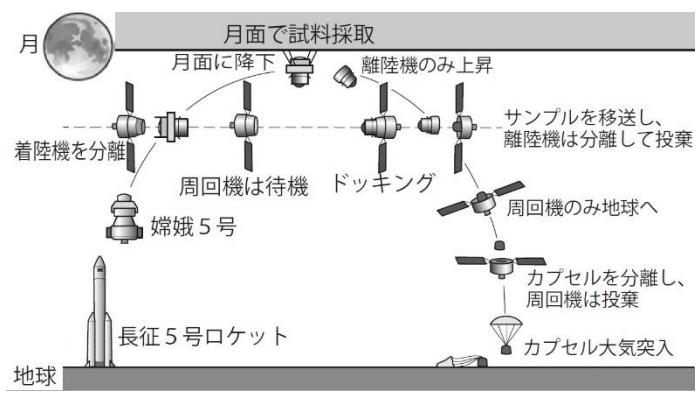
・第7章 軽いプレッシャーと自信が日本を変える

アベノマスク程度でしかない我が国の宇宙探査

事業仕分けで翻弄された「はやぶさ2」プロジェクト など



「やはぶさ2」の人工クレーター作成ミッション。



中国「嫦娥(じょうが)5号」のミッションの概要。

【お問い合わせ先】

株式会社ビジネス社 PR 担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地

神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com

携帯:09072611982

TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。